

新潟県中越地震の発生と被害・復旧の状況

はじめに

新潟県中越地震が起こってから、1年が経過した。被災地においては、あつという間でもあり、長い1年でもあったのではないか。1年を経過し、徐々に被災地の復興が進んできてはいるものの、未だ仮設住宅での生活を余儀なくされている人たちも多い。また、仕事への影響も生じて、生活が一変してしまった人たちが存在するのも事実だ。あちらこちらに残っている震災の爪痕。昨年は、7月に大規模な水害も経験しており、新潟県にとっては、大きな災害に2つも見舞われた年であった。

そこで、今回のホクギンレポートでは、新潟県中越地震後1年を経るにあたって、震災の状況と被災地での立ち直りの軌跡を今後に残すため、震災の特集を組んでみた。震災時の記録や被害・復旧の状況、統計から見た震災の影響、企業・県民に対するアンケートにより実態をみるとともに、国や県、各地域での復興計画、震源となった中越地域において復興に取り組んでいる方々からのメッセージを掲載し、今後の復興に向けての道筋を

伝えたい。未曾有の被害を残した今般の震災であるが、今後の地域振興が、被災地において、震災前後に誕生した新市町の門出の事業となるであろう、その成功に期待する。なお、市町村名は、基本的には中越地震発生時（平成16年10月23日時点）のもので記載している。

新潟県中越地震の発生

新潟県中越地震の発生

1年前の平成16年10月23日午後5時56分、新潟県中越地震が発生した。突然の激しい揺れ。マグニチュード（M）6.8、震源は新潟県中越地方（図表1-1）。川口町で最大震度7が記録されたほか、小千谷市、山古志村、小国町で震度6強、長岡市をはじめ12市町村で6弱が観測された（図表1-2）。国内で震度7規模の地震が観測されたのは、阪神・淡路大震災に次いで、2回目ということである。なお、阪神・淡路大震災の状況を見ると、地震の規模を示すマグニチュードは7.3と今回の震災を上

図表1-1 新潟県中越地震と阪神・淡路大震災の比較

	新潟県中越地震	阪神・淡路大震災
発生日時	平成16年10月23日 午後5時56分	平成7年1月17日 午前5時46分
震源地	新潟県中越地方	淡路島北部
震源の深さ	13km	16km
規模	マグニチュード6.8	マグニチュード7.3
最大震度	震度7	震度7

資料:新潟地方気象台、兵庫県

図表1-2 新潟県中越地震における各地の震度（震度5弱以上）

各地の震度	震度	市町村
各地の震度	震度7	川口町
	震度6強	小千谷市、山古志村、小国町
	震度6弱	長岡市、十日町市、栃尾市、越路町、三島町、堀之内町、広神村、守門村、入広瀬村、川西町、中里村、刈羽村
	震度5強	安塚町、松代町、松之山町、見附市、中之島町、与板町、和島村、出雲崎町、小出町、塩沢町、六日町、大和町、津南町
	震度5弱	上越市、浦川原村、牧村、柿崎町、頸城村、吉川町、三和村、三条市、柏崎市、加茂市、栄町、湯之谷村、広神村、高柳町、西山町、燕市、弥彦村、分水町、吉田町、巻町、月潟村、中之口村

※市町村名は平成16年10月23日現在

資料:新潟地方気象台

図表1-3 本震・余震の推移（震度5弱以上）

日にち	時間	規模	震度
10月23日	17時56分	M6.8	震度7
	17時59分	M5.3	震度5強
	18時03分	M6.3	震度5強
	18時07分	M5.7	震度5強
	18時11分	M6.0	震度6強
	18時34分	M6.5	震度6強
	18時36分	M5.1	震度5弱
	18時57分	M5.3	震度5強
	19時36分	M5.3	震度5弱
	19時45分	M5.7	震度6弱
10月24日	14時21分	M5.0	震度5強
	10月25日	0時28分	M5.3
10月25日	6時04分	M5.8	震度5強
	10月27日	10時40分	M6.1

資料:新潟地方気象台